

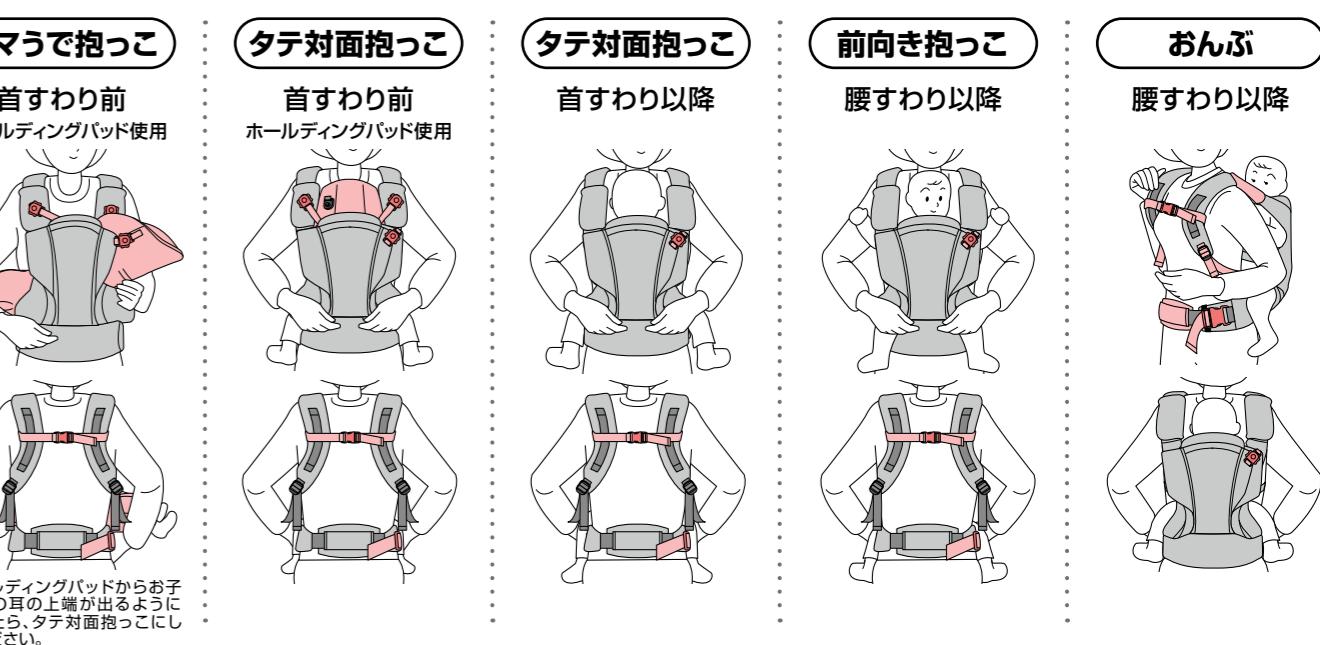
## 使用できるお子さまの月齢および体重について

・SGマーク被害者救済制度の対象は下記赤矢印でのご使用期間です。黒矢印でのご使用期間(タテ対面抱っこで生後14日以降1カ月まで、24カ月を超えてから36カ月までの間)は対象となりません。SGマーク被害者救済制度につきましては本書P3を参照ください。

参考月齢	0ヵ月 14日 1ヵ月 （首すわり）（ひとり坐り） 4ヵ月 7ヵ月 24ヵ月 36ヵ月	体 重
ママうで抱っこ	体重2.5kgから7kgまで ホールディングパッド使用 (新生児から首すわり頃まで)	7kgまで
タテ対面抱っこ	体重7kgまで ホールディングパッド使用 (生後14日以降、かつ体重3.5kg以上から首すわり頃まで) ＊タテ対面抱っこで生後14日以降1カ月まで、24カ月を超えてから36カ月までの間ではSGマーク制度の対象外です。	15kgまで
前向き抱っこ	体重13kgまで	13kgまで
おんぶ	体重15kgまで	15kgまで

- ・お子さまの発育は個人差がありますので月齢表示は目安にしてください。
- ・お子さまの衣類の厚みや体格によっては使用できない場合があります。

## 装着状態と付属品の使用について



◎ 必ず取り付けて使用	○ 必須ではないが使用可能	✗ 使用不可	ママうで抱っこ (首すわり前)	タテ対面抱っこ (首すわり前)	タテ対面抱っこ (首すわり以降)	前向き抱っこ (腰すわり以降)	おんぶ (腰すわり以降)
ホールディングパッド	◎	◎	×	◎	×	×	×
ヘッドサポート	✗	✗	○	✗	○	○	○
よだれパッド	○	穴側を前向きに使用	穴側を前向きに使用	穴側を前向きに使用	穴側を後向きに使用	穴側を後向きに使用	穴側を後向きに使用
サポートベルト	✗	○	○	○	○	○	◎
おやすみカーテン	✗	○	○	○	×	○	○

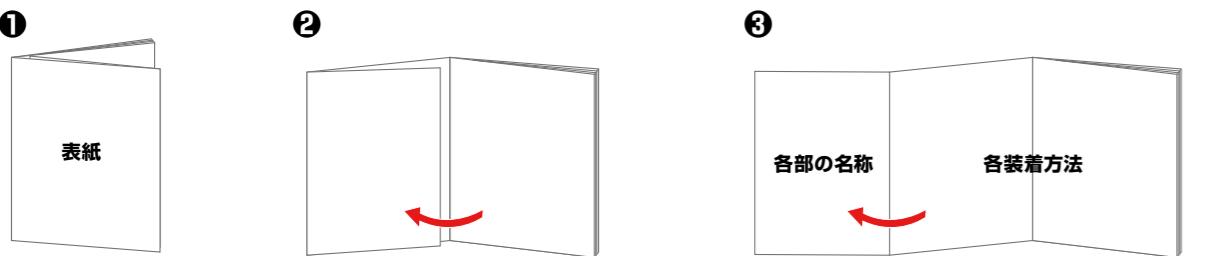
## 抱っこひも コアラ ウルトラメッシュ

## 取扱説明書／保証書

このたびは、アップリカ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。  
この製品は新生児\* から体重15kgまでの赤ちゃん用抱っこひもです。

\*ここでは、新生児とは、出生時に体重2.5kg以上かつ在胎週数37週以上の乳児を指します。  
この条件を満たさない赤ちゃんへのご使用については医師にご相談ください。

## &lt;取扱説明書の便利な使い方&gt;



・各部の名称と各装着方法が見開きでご覧いただけます。

●使い方の動画は下記でご覧いただけます。

取扱説明書をお読みいただいたりから、動画をご覧ください。

## &lt;ママうで抱っこ&gt;

首すわり前



## &lt;タテ対面抱っこ&gt;

首すわり前



## &lt;タテ対面抱っこ&gt;

首すわり以降



## &lt;タテ対面抱っこ&gt;

腰すわり以降



## &lt;前向き抱っこ&gt;

腰すわり以降



## &lt;おんぶ&gt;

腰すわり以降



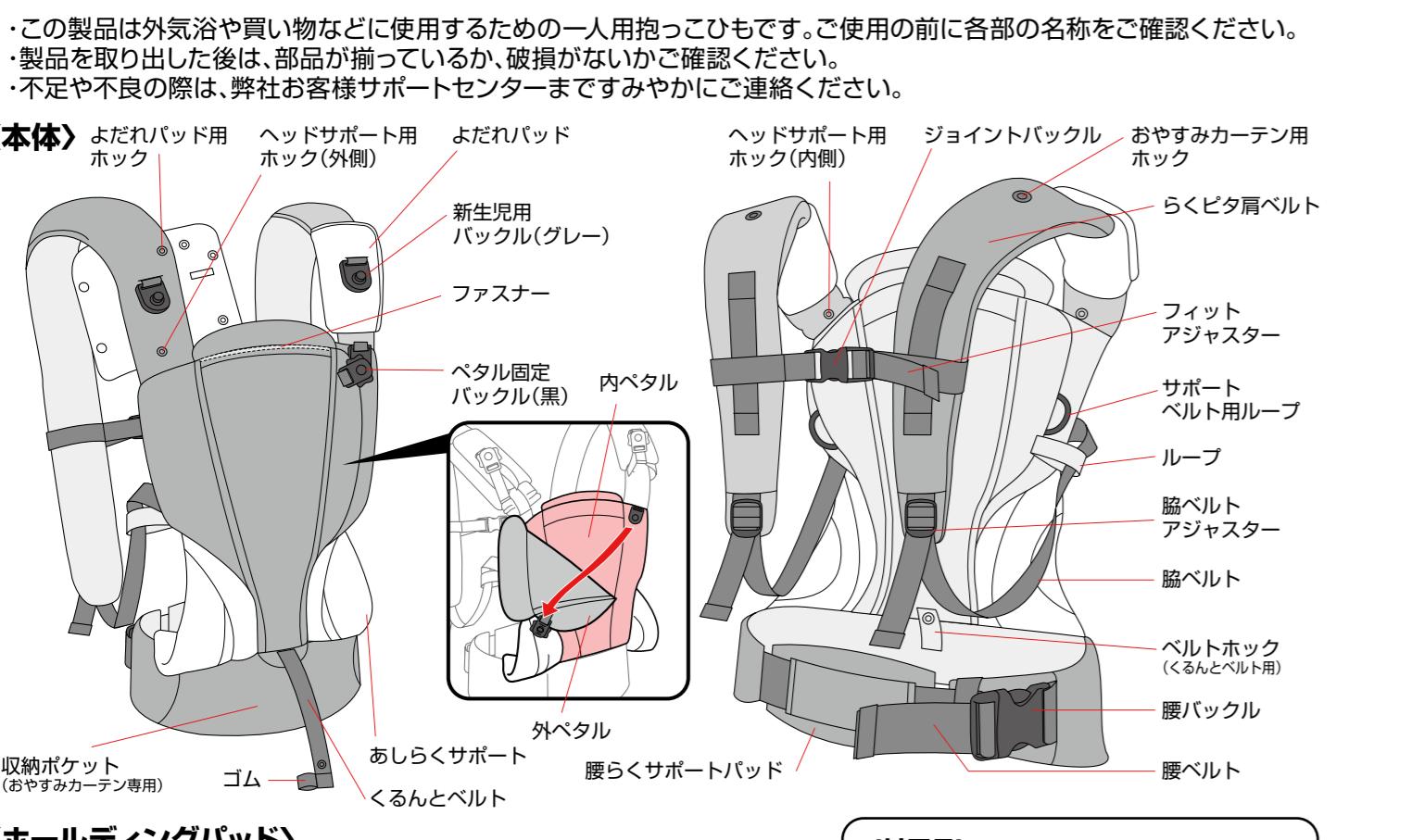
・本書に使用しているイラストは、操作方法や仕組みなどを分かりやすくするために、実物とは多少異なる場合があります。  
・本書の内容について、誤りや記載もれなどお気づきの点がありましたら、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。  
・製品の品質向上のため、予告なしに一部仕様変更する場合もありますので、あしからずご了承ください。

ニューウエルブランズ・ジャパン合同会社

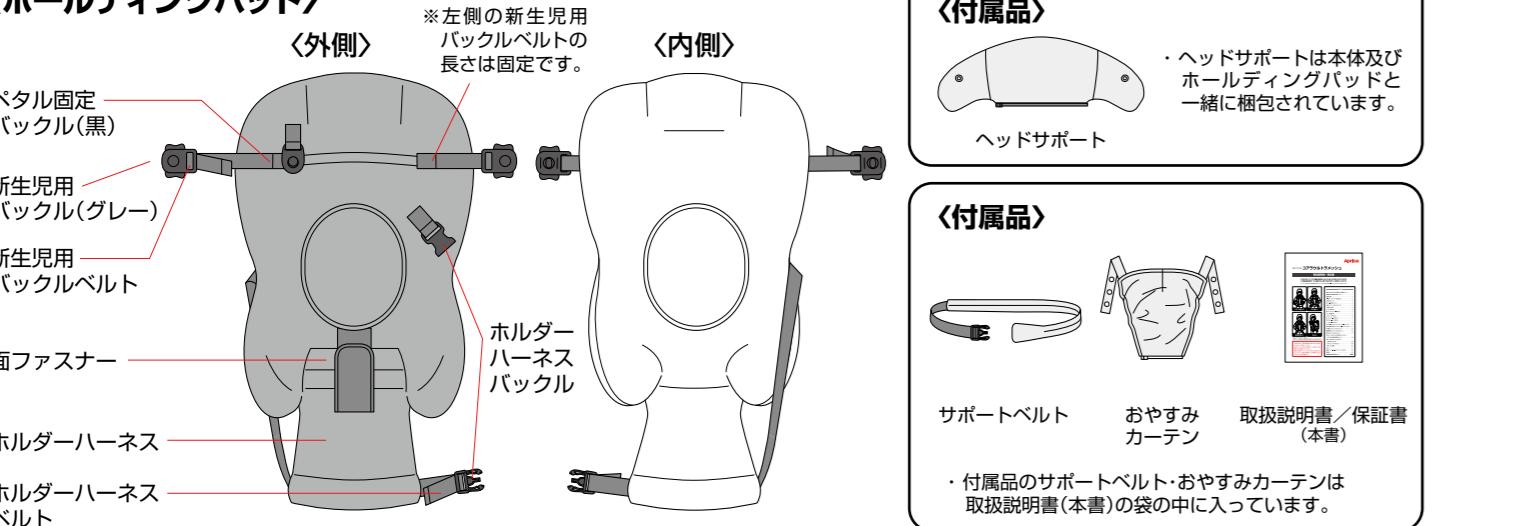
〒108-0023 東京都港区芝浦4-9-25 芝浦スクエアビル

ベビー事業部 お客様サポートセンター TEL 0120-415-814 携帯電話からご利用の場合(通話料お客様負担)TEL 0570-004-155  
受付時間 : AM10:00～PM5:00(土、日、祝日、弊社所定休日を除く)

## 各部の名称

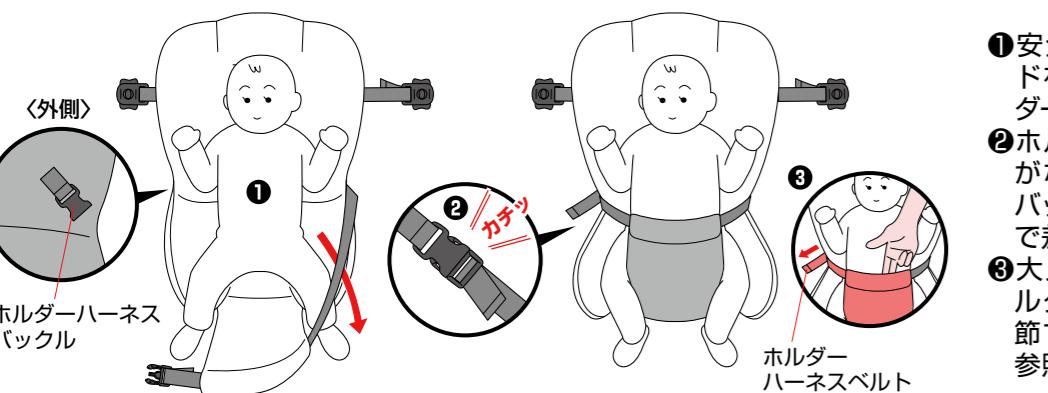


〈ホールディングパッド〉



## ホールディングパッドの装着方法

首がすわるまでは必ず使用



## 表示内容について

・「警告」、「注意」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表示	表示の内容	禁止記号	表示の意味
⚠ 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。	🚫	製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止しています。
⚠ 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。		

## SGマーク制度について



SGマーク付き製品は安全性が高く、安心してお使いいただけるものですが、製品安全協会では損害保険会社と生産物賠償責任保険の契約を結んでおり、SGマーク付き製品の欠陥により、人身被害が生じたと認められる場合、事故原因、被害の程度などに応じて、賠償措置を実施します。  
ただし、抱っこひもの場合、ご購入後3年以内の製品が対象となります。

〈抱っこひものSGマーク制度の適用対象月齢は以下のとおりです。〉

- ママうで抱っこ：0ヶ月から4ヶ月(体重7kg)まで
- タテ対面抱っこ：1ヶ月から24ヶ月(体重13kg)まで
- 前向き抱っこ：7ヶ月から24ヶ月(体重13kg)まで
- おんぶ：7ヶ月から36ヶ月(体重15kg)まで

〈賠償についてのご注意〉

SGマーク被害者救済制度は、SGマーク付き製品の欠陥によって傷害などの身体的な損害(人的損害)について賠償する制度です。この制度は、SGマーク付き製品そのものが故障した場合に補償するものではなく、また、SGマーク付き製品の欠陥によって他の物に生じた損害(物的損害)を賠償するものではありません。

※タテ対面抱っこの生後14日以降1ヶ月まで、24ヶ月を超えて36ヶ月まではSGマーク制度の対象外です。

〈製品の欠陥によって事故が起きた場合〉

事故が起きたら、すぐに製品安全協会へ連絡してください。  
連絡後、製品安全協会から送付されてくる事故発生箇所等を提出していただきます。(原則として60日以内)

製品安全協会 〒110-0012 東京都台東区竜泉2-20-2 ミサワホームズ三ノ輪2階 TEL 03-5808-3300

- ①事故の原因となったSGマーク表示の製品 イ)製品の名前、SGマーク番号 口)製品の購入先、購入年月
- ②事故発生の状況 イ)事故発生年月日 口)事故発生場所 ハ)事故発生状況
- ③被害の状況 イ)被害者の氏名、年令、性別、職業、住所 口)被害の状況と程度

## 点検について

・ご使用の前に、バックルなどの部品が破損したり、ベルトや生地などに破れ、ほつれ、傷が無いことを確認してください。  
異常がある状態で使用すると、事故につながるおそれがあります。

## お手入れについて

〈軽度の汚れの場合〉

- ・湿らせた布でたたいて汚れを落としてください。

〈洗濯する場合〉

- 本体、ホールディングパッド、おやすみカーテン  
よだれパッド、サポートベルト、ヘッドサポート



※洗濯ネット使用、ねじり又は絞り禁止

- ・本製品は乾燥機を使用しないでください。また、脱水機の使用も短時間(2~3分)にしてください。バックルなどの破損や、変形につながるおそれがあります。
- ・他の洗濯物とは別に洗濯してください。色落ちし移染するおそれがあります。
- ・蛍光剤入りの洗剤、漂白剤を使用しないでください。
- ・濡け置きしないでください。
- ・雨や汗などでぬれた場合や洗濯後は放置せず十分乾燥させてください。
- ・力などが発生する恐れがあります。
- ・本体、ホールディングパッド、サポートベルトの面ファスナー、バックル類はそれと離れてから、他の洗濯物とは別に洗ってください。洗濯物を傷つけるおそれがあります。
- ・余った脇ベルトをゴムでとめている場合は、はずしてから洗ってください。ゴムがのびてしまうおそれがあります。
- ・洗濯による色落ちなどは補償の対象外となります。

## ご使用上の注意

・ここに記載した内容は非常に重要です。よくお読みになり、必ず守ってください。

⚠ 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。			
バックル、腰パックル、ジョイントパックル、ヘッドサポート用ホック(黒)、新生児用バックル(グレー)をはずした状態で使用しない。お子さまが落下するおそれがあります。	脇ベルト、腰ベルト、フィットアジャスター、ヘッドサポート用ホック(黒)、新生児用バックル(グレー)をはずした状態で使用しない。お子さまが落下するおそれがあります。	走ったり、跳んだり、前かがみなどの無理な姿勢をとらない。お子さまが落したり、発達に影響を及ぼすおそれがあります。	首がすわるまでは、ホールディングパッドなしで使用しない。お子さまが落下したり、発達に影響を及ぼすおそれがあります。	ホールディングパッドにお子さまを乗せた状態で、ホルダーハーネスパックルをはずして使用しない。お子さまがパックルに指を入れてかけをかけるおそれがあります。
タテ対面抱っこ、おんぶでは、体重15kgを超えるお子さまに使わない。お子さまが落するおそれがあります。	前向き抱っこでは、体重13kgを超えるお子さまに使わない。お子さまが落するおそれがあります。	ママうで抱っこ以外は、外ベルトと内ベルトの間にお子さまを入れて使用しない。お子さまが落するおそれがあります。	授乳後30分以内は使用しない。お子さまのおなかを圧迫することがあり、消化吸収を妨げるおそれがあります。	リュックサックなどと併用しない。パックルと干渉し、パックルがはずれてお子さまが落しきがをするおそれがあります。
ママうで抱っこ：0ヶ月から4ヶ月(体重7kg)まで	タテ対面抱っこ：1ヶ月から24ヶ月(体重13kg)まで	前向き抱っこ：7ヶ月から24ヶ月(体重13kg)まで	おんぶ：7ヶ月から36ヶ月(体重15kg)まで	

・誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

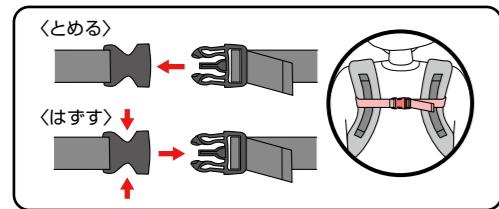
- ・足元が見えにくくなる場合がありますので歩行には十分注意してください。
- ・暖房器具の近くなど高温になる場所に製品を放置しない。
- ・直射日光のある場所に製品を保管しない。変色や劣化が早まります。
- ・洗濯する際は面ファスナーをとめてください。面ファスナーや本製品の生地および他の洗濯物がいたむおそれがあります。
- ・その他、荷物などの運搬など、お子さまを抱っこ、おんぶする以外の目的での使用をしない。

## バックルの使い方

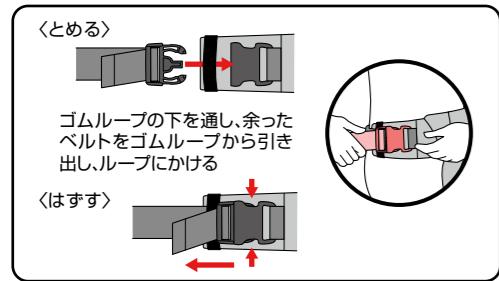
※バックルをとめた後は、ベルトを引っ張るなどしてバックルがはずれないことを確認してください。

- ・バックルをとめるときは「カチッ」と音がするまで差し込み、はずすときは➡➡を押して解除する。
- ・バックルにゴムや生地が噛みこんでいることを確認する。

### ジョイントバックル



### 腰バックル

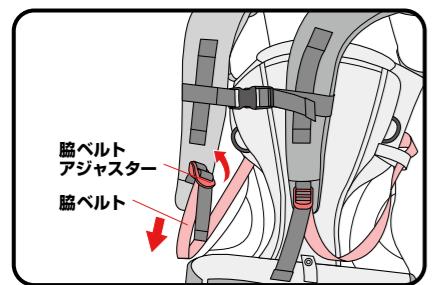


お子さまが落下するおそれがあります。

- ・腰バックル、ホルダーハーネスバックル、新生児用バックル（グレー）、ペタル固定バックル（黒）をはずした状態で使用しない。
- ・腰バックルはゴムループに通さない状態で使用しない。

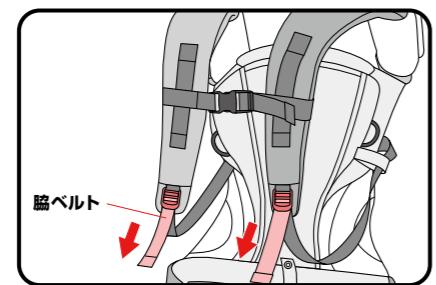
## 脇ベルトアジャスター調節方法

### くゆるめる場合



- ・脇ベルトアジャスターを少しあげて脇ベルトをくゆめると、お子さまと使用者の間にスペースができます。

### 締める場合

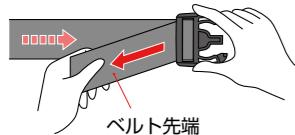


- ・脇ベルトを引っ張ると、お子さまは使用者に引き寄せられます。

## ベルトの調節方法

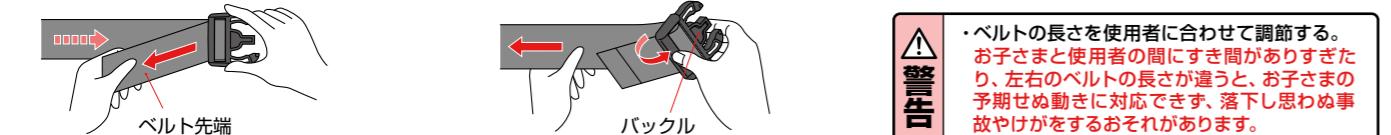
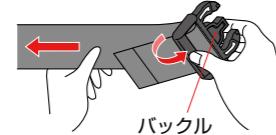
### 短くする時

- ・ベルトの先端を矢印の方向に引く。



### 長くする時

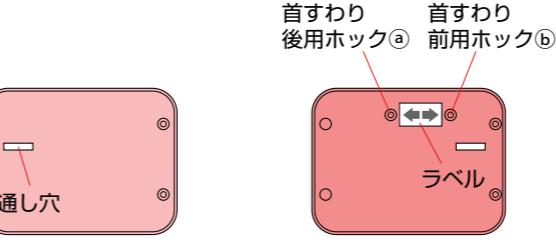
- ・バックルを立てて、ベルトを矢印の方向に引き戻す。



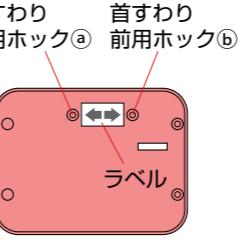
## よだれパッドの使い方

〈よだれパッド〉 よだれパッドには左右・上下があり、右肩用の裏側・上部にだけ目印のラベルがついています。

### ■右肩用

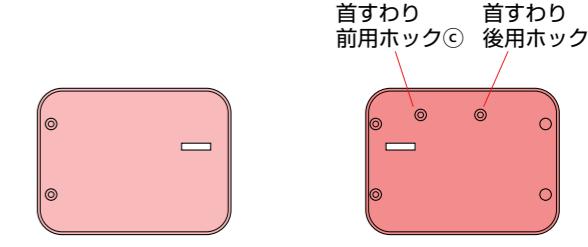


〈表側〉

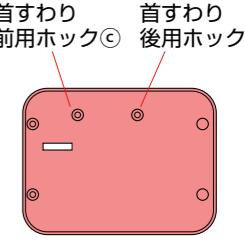


〈裏側〉

### ■左肩用



〈表側〉

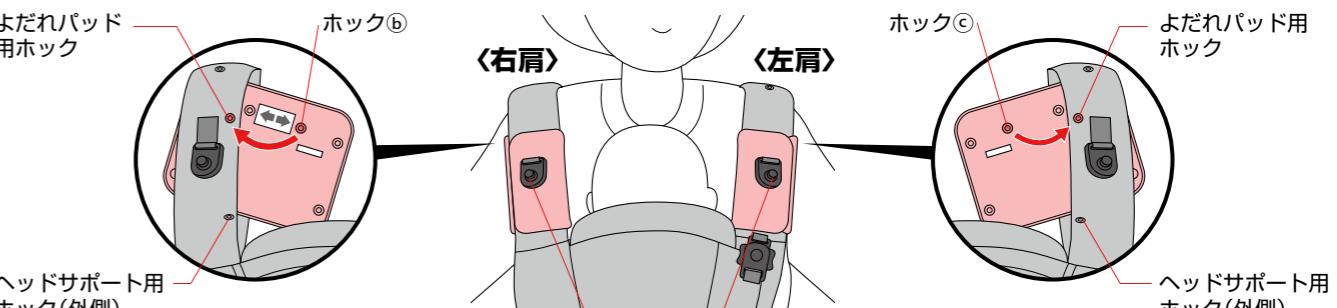


〈裏側〉

### 〈よだれパッドの取り付け方〉

#### ①首すわり前

首すわり前はホールディングパッドの使用が必要です。よだれパッドの通し穴から新生児用バックルを出した状態でご使用ください。



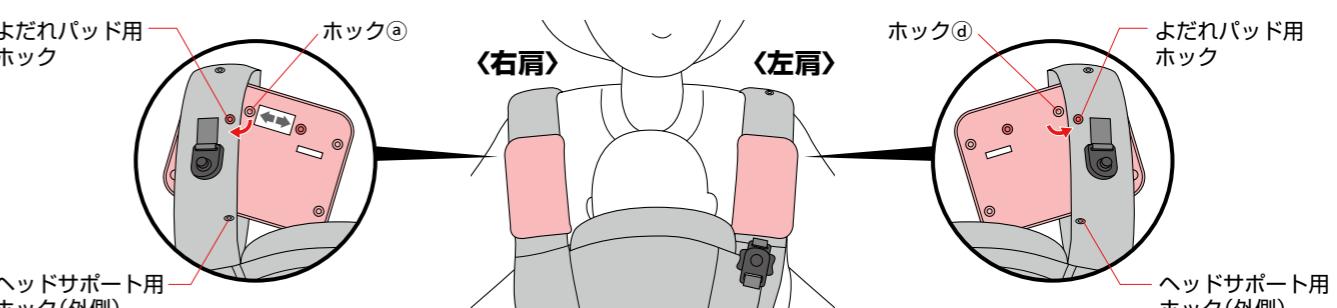
- ・ホック④をよだれパッド用ホックにとめる。
- ・通し穴から新生児用バックルを出す。
- ・らくピタ肩ベルトによだれパッドを巻きつける。
- ・両端のホックをとめる。

首すわり前の  
よだれパッド装着状態

- ・ホック⑤をよだれパッド用ホックにとめる。
- ・通し穴から新生児用バックルを出す。
- ・らくピタ肩ベルトによだれパッドを巻きつける。
- ・両端のホックをとめる。

#### ②首すわり後

首すわり後は安全のため、新生児用バックルをよだれパッドで覆った状態でご使用ください。

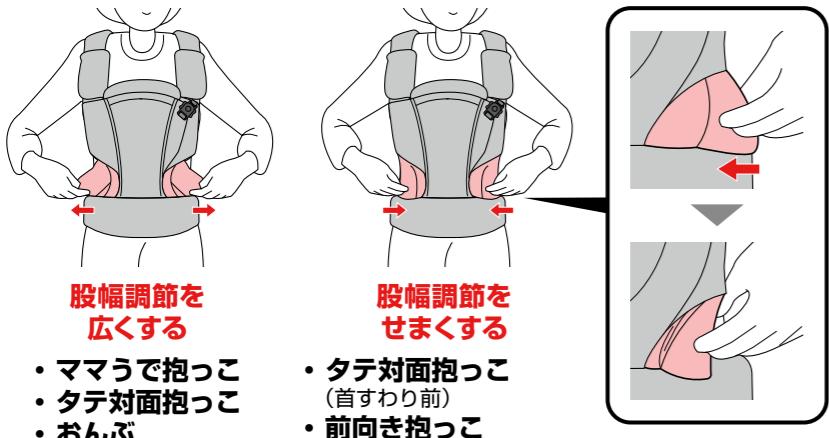


- ・ホック④をよだれパッド用ホックにとめる。
- ・らくピタ肩ベルトによだれパッドを巻きつける。
- ・両端のホックをとめる。（よだれパッドの合わせ目はらくピタ肩ベルトの裏側にある。）

首すわり後の  
よだれパッド装着状態

- ・ホック⑤をよだれパッド用ホックにとめる。
- ・らくピタ肩ベルトによだれパッドを巻きつける。
- ・両端のホックをとめる。（よだれパッドの合わせ目はらくピタ肩ベルトの裏側にある。）

## あしらくサポートの使い方



- ・あしらくサポートは股幅を調節することで、タテ対面抱っこ時の自然なM字型姿勢をサポートします。
- ・開梱時の股幅は広い状態です。股幅調節をせまくして使う時は、あしらくサポートの外側を手でもち、内側のやわらかい生地を中へ押し込みます。
- ・前向き抱っこ際は必ず股幅調節をせまくし、お子さまの足が動かしやすいかどうかを確認してください。

**警告**

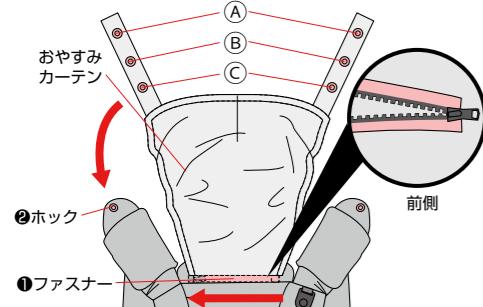
・前向き抱っこ際は、鏡に映して、股幅調節がせまくした状態になっているか、足が動かしやすい状態になっているかを確認する。お子さまが体調を損なうおそれがあります。

## おやすみカーテンの使い方

※開梱時、おやすみカーテンは取扱説明書の袋の中に入っています。

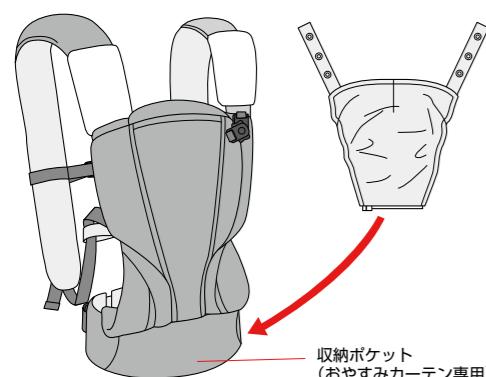
- ・ママうで抱っこ、前向き抱っこ時はおやすみカーテンをご使用できません。
- ・風よけや日差しよけにもなります。
- ・ヘッドサポートとの併用はできません。
- ・お子さまを乗せる前に、ファスナーでおやすみカーテンを取り付けておいてください。

### 〈取り付け方〉



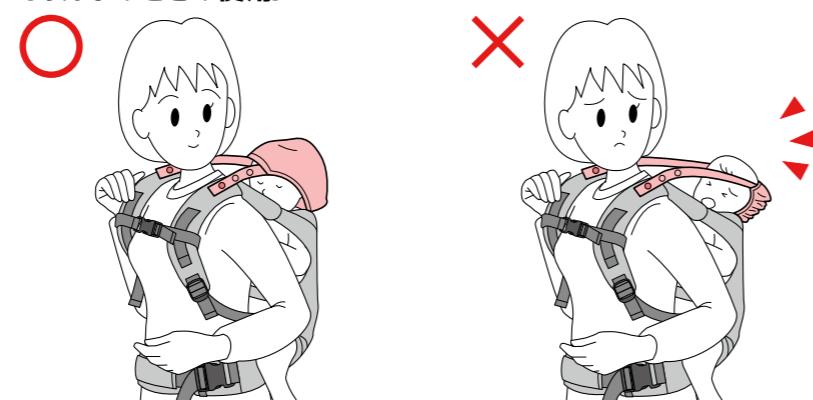
- ①おやすみカーテンをファスナーで取り付ける。(ファスナーは引手を持って最後まで引く、ファスナーが開かないよう、引手を倒しきっちりとめる。)
- ②ホックをらくピタ肩ベルトにとめる。

### 〈使用しないときの収納〉



- ・おやすみカーテンは腰ベルトの前面にある専用の収納ポケットに収納できます。

### 〈おんぶのときの使用〉



- ・鏡などに姿を映して、おやすみカーテンがお子さまの頭を覆っていることを確認する。正しく出来ていない場合はもう一度調節しなおしてください。



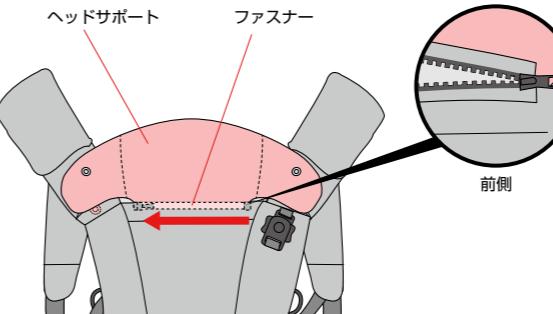
- ・おやすみカーテンを使用する際は、特にお子さまの様子に注意する。気道がふさがると窒息するおそれがあります。
- ・お子さまが眠った後、おやすみカーテンを使用しても頭が後ろに反り返る場合は使用を中止する。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・お子さまがおやすみカーテンを嫌がったり、ひどく体を後ろに反り返らせる場合は使用を中止する。ホックが外れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・収納ポケットは、おやすみカーテン専用です。尖ったものを入れない。お子さまが傷害を負う可能性があります。

## ヘッドサポートの使い方

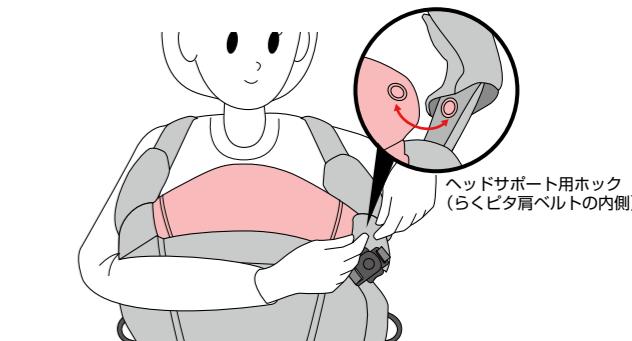
※開梱時、ヘッドサポートは本体及びホールディングパッドと一緒に梱包されています。

- ・ママうで抱っこ、タテ対面抱っこ(首座り前)、前向き抱っこ時はヘッドサポートをご使用できません。
- ・おやすみカーテンとの併用はできません。
- ・よだれパットの通し穴をらくピタ肩ベルトの裏側にしてご使用ください。
- ・お子さまを乗せる前に、ファスナーでヘッドサポートを取り付けておいてください。

### 〈取り付け方〉



- ① ヘッドサポートをファスナーで取り付ける。  
(ファスナーは引手を持って最後まで引く、ファスナーが開かないよう、引手を倒しきっちりとめる。)

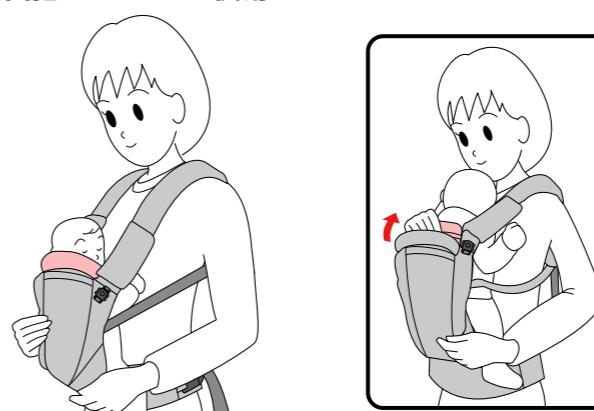


- ② ヘッドサポートのホック左右をらくピタ肩ベルトの内側のホックにとめる。



- ・お子さまがヘッドサポートを嫌がったり、ひどく体を後ろに反り返らせる場合は使用を中止する。ホックが外れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・ヘッドサポートをご使用の際は、必ずファスナーで固定する。本体とヘッドサポートの間に隙間ができ、頭部が安定せず、思わぬ事故につながります。
- ・外ペタルと内ペタルを重ねて使用する。お子さまの位置がずれて、バランスが崩れ思わぬ事故につながるおそれがあります。

### 〈タテ対面抱っこのときの使用〉

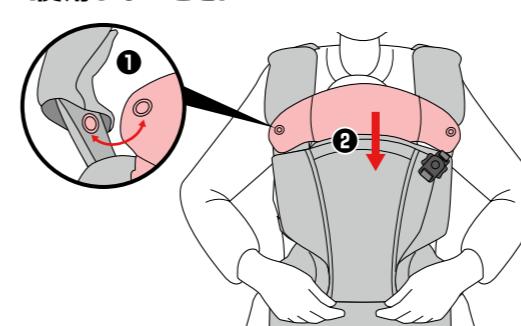


- ・お子さまのお尻を持ち上げ内ペタルを引っ張り上げ、外ペタルを重ねて使用する。
- ・鏡などに姿を映して、お子さまの頭の位置をときどき確認してください。

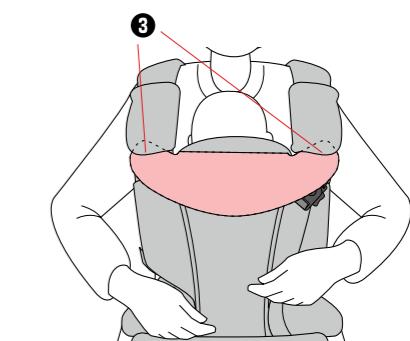
### 〈おんぶのときの使用〉



### 〈使用しないとき〉



- ① ヘッドサポートとして使用しないときは内側ホックを左右外します。
- ② ヘッドサポート左右を折り返す。



- ③ ヘッドサポート外側のホックを左右にとめる。

- ・使用しないときは折り返してホックにとめるか、もしくは取扱説明書と一緒に保管ください。

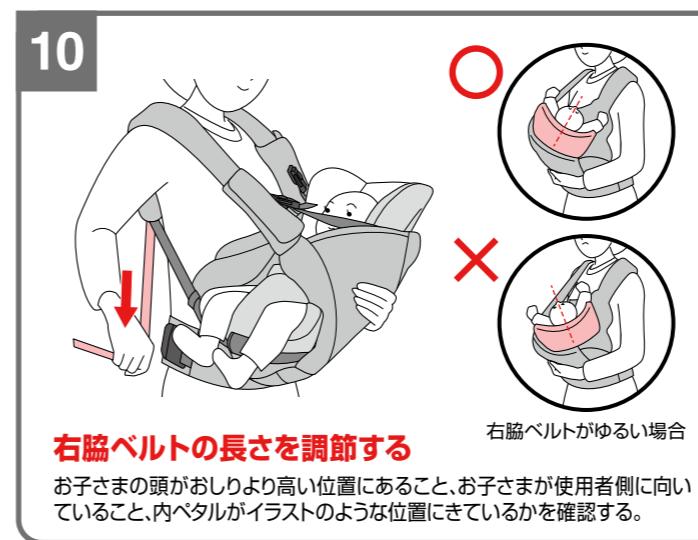
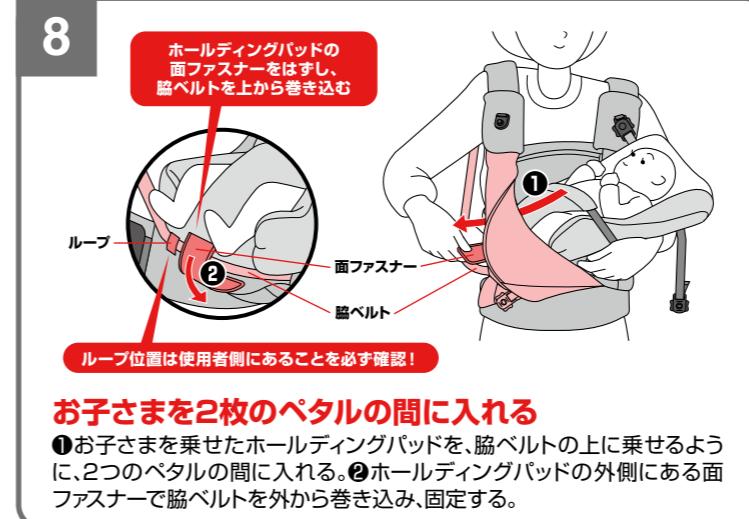
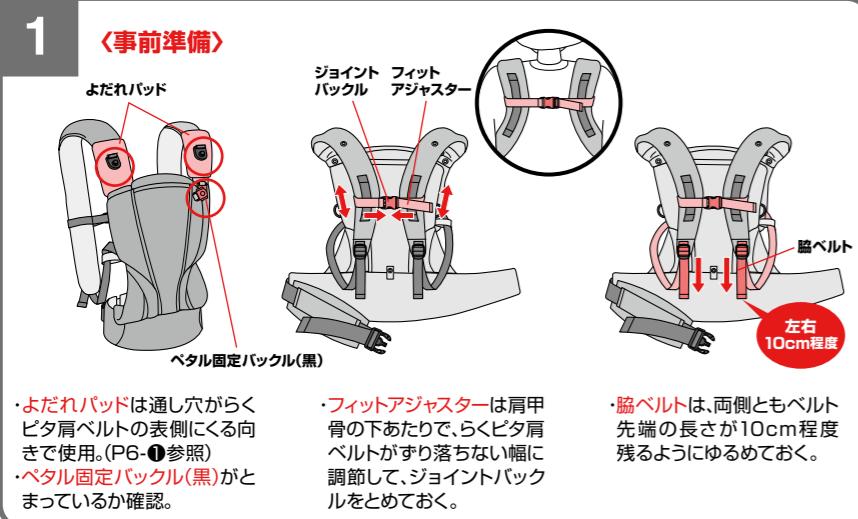
# ママうで抱っこ

新生児～首すわりまで (体重2.5kg～7kgまで)

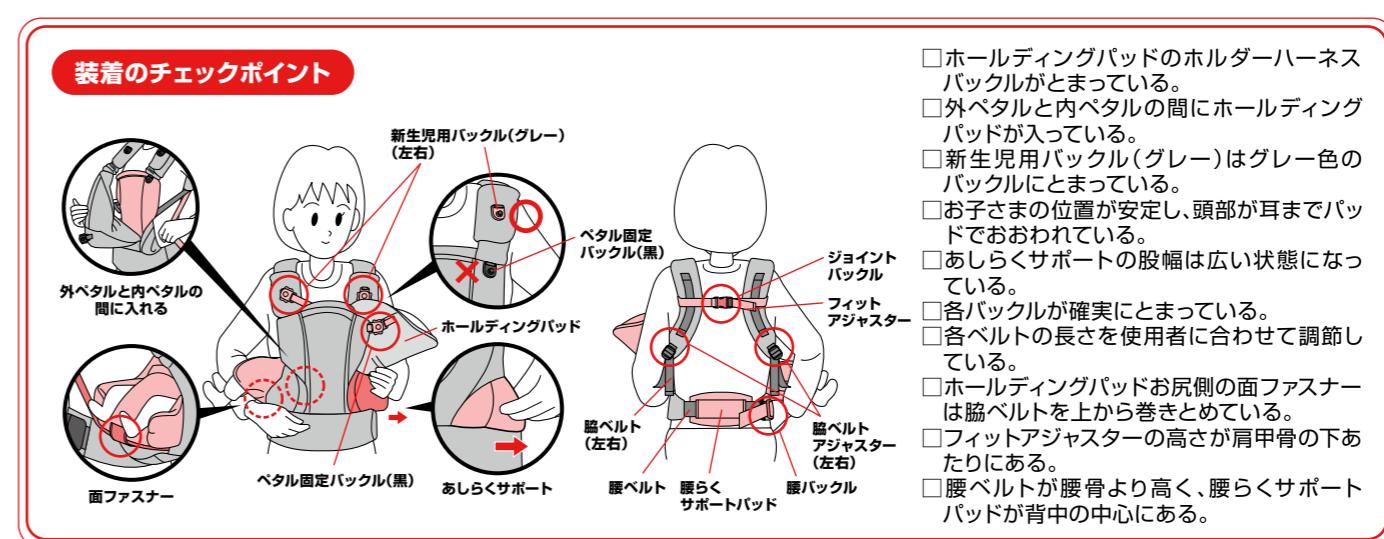
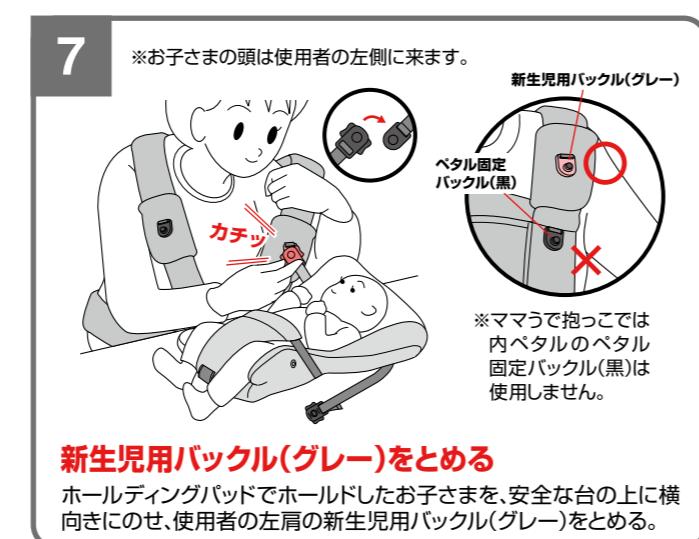
- ・首がおおよそ安定する頃までは、お子さまと目が合わせられる「ママうで抱っこ」をおすすめします。
- ・必ず、ホールディングパッドをご使用ください。
- ・必ず、外ペタルと内ペタルの2枚の間にお子さまをいれてください。
- ・お子さまの頭は使用者の左側にきます。(反対側にはできません。)
- ・ホールディングパッドからお子さまの耳の上端ができるようになったら、タテ対面抱っこにしてください。



- ・連続して2時間以上は使用しない。お子さまや使用者の体調を損なうおそれがあります。
- ・授乳後30分以内は使用しない。お子さまのおなかを圧迫することがあり、消化吸収を妨げるおそれがあります。
- 【お子さまが落するおそれがあります】
  - ・抱っこする時や降ろす時は、安全な場所で低い姿勢で行う。
  - ・前傾姿勢時に使用者の体から離れた状態になりやすいため、お子さまを手で支え、頭が下がらないように注意する。
  - ・ホールディングパッドを必ず使用し、指定されたバックル類やファスナーを必ずとめる
  - ・必ず2枚のペタルの間にお子さまを乗せたホールディングパッドを入れる
- 【お子さまが窒息するおそれがあります】
  - ・お子さまの顔を使用者の身体に強く押し当てる状態にしない。
  - ・お子さまを使用者の身体に強く縛りつけた状態にしない。お子さまが頭部を動かす余裕があるように装着する。
  - ・気道をふさいでいないか、お子さまの状態に注意しながら使用する。



\*お子さまを降ろす際は、9から逆の手順で行ってください。  
その際、ホールディングパッドのはずした面ファスナーは、元の位置にとめてください。



# 首すわりまでのタテ対面抱っこ

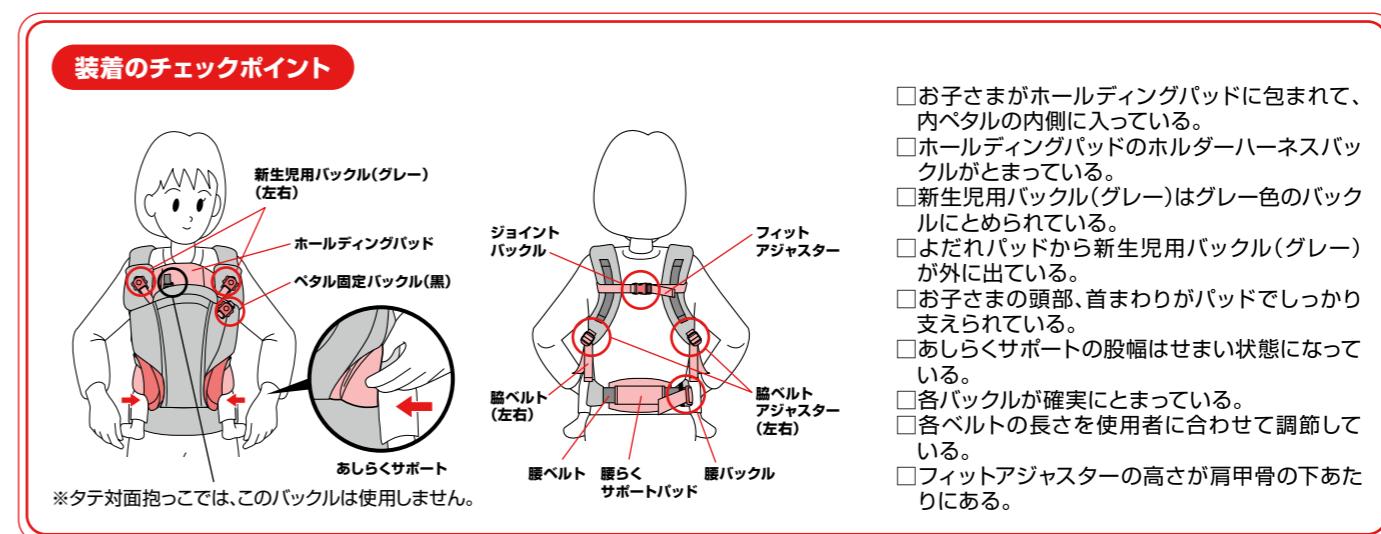
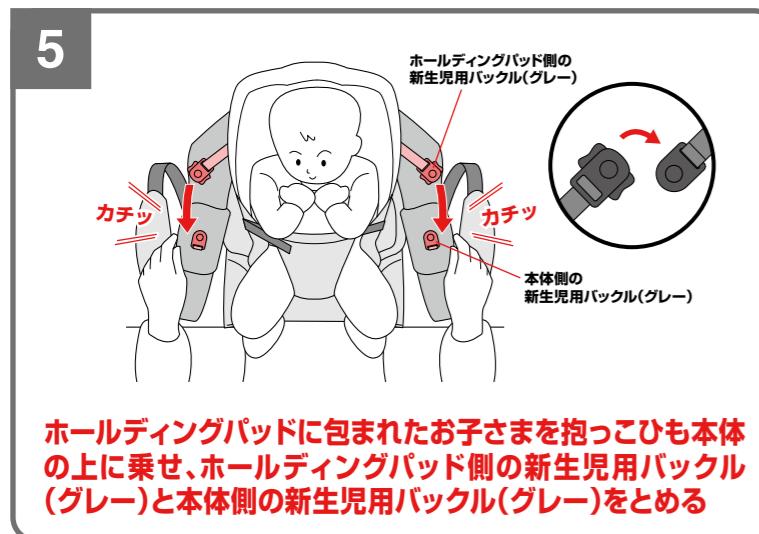
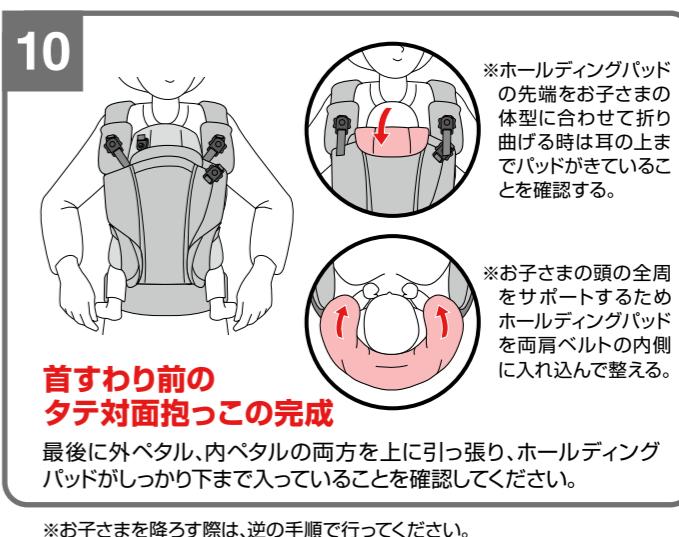
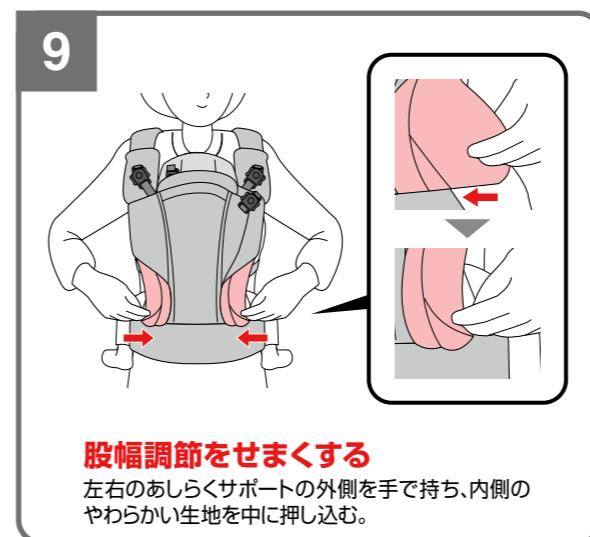
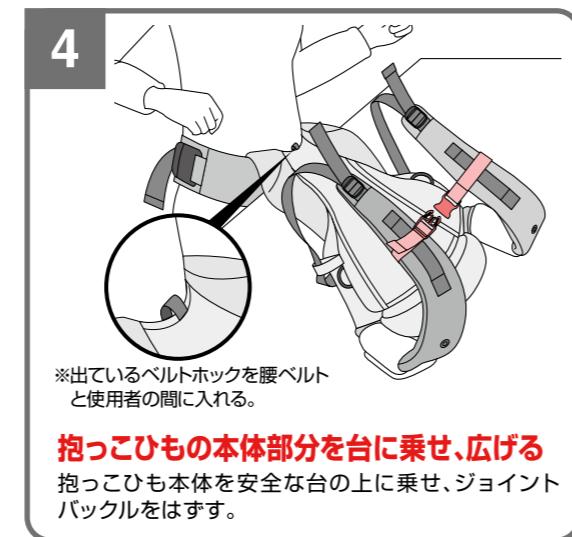
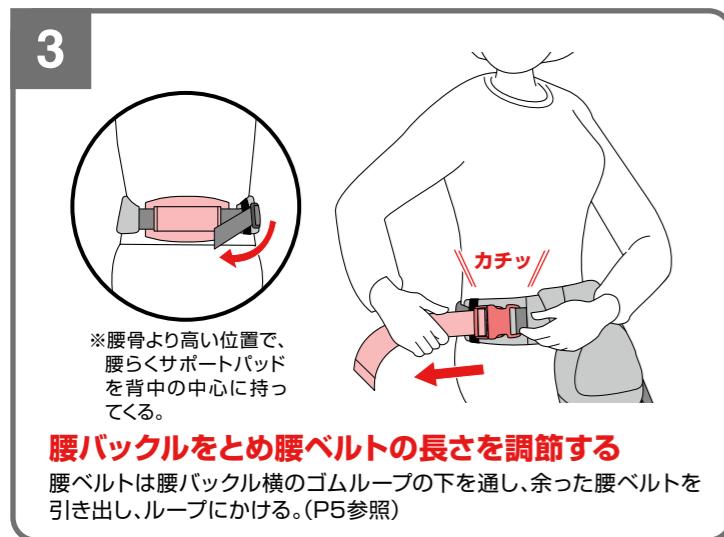
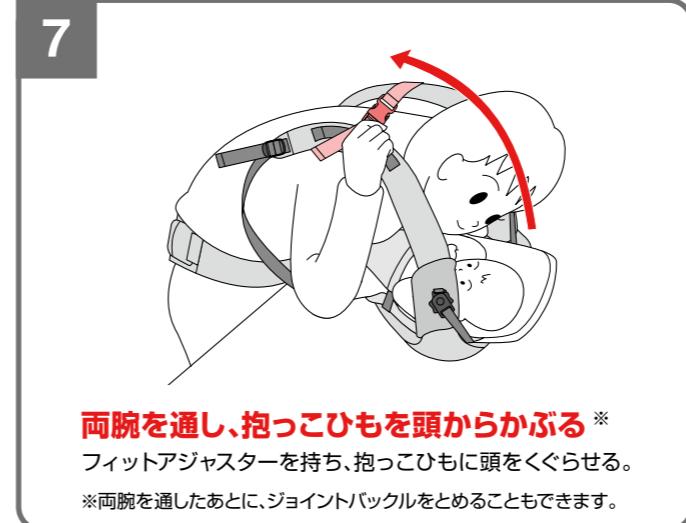
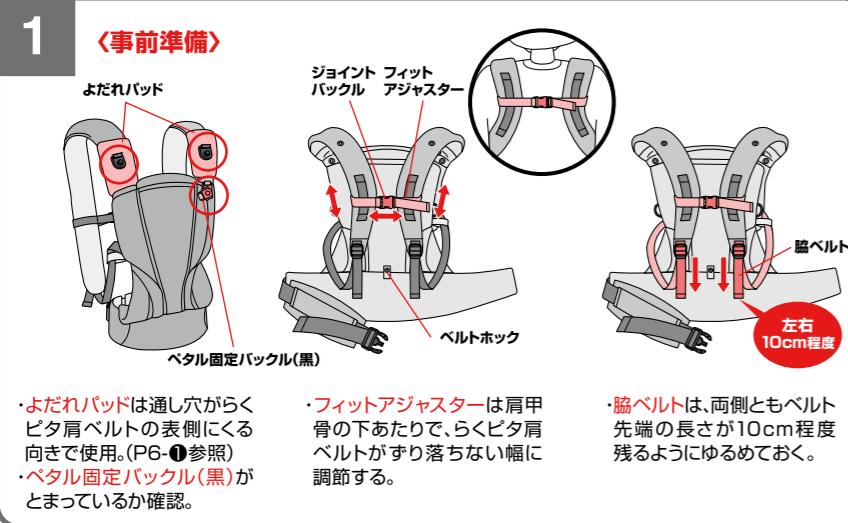
生後14日以降かつ体重3.5kg以上～首すわりまで(体重7kgまで)  
※生後14日以降1カ月まではSGマーク制度の対象外です。

- お子さまがママうで抱っこを嫌がるようになったら、**「首すわりまでのタテ対面抱っこ」**をおすすめします。
- 必ず、ホールディングパッドをご使用ください。**
- お子さまの耳の上側までホールディングパッドがきていること、頭の全周をサポートしていることを確認してください。
- 必ず、内ペタルの内側にお子さまをいれてください。
- 安全な台を使って装着してください。
- タテ対面抱っこをする際は、お子さまの首がすわるまで必ず向かい合う姿勢で装着してください。



- 連続1時間以上使用しない。お子さまや使用者の体調を損なうおそれがあります。
- 授乳後30分以内は使用しない。お子さまのおなかを圧迫することがあり、消化吸収を妨げるおそれがあります。
- 【お子さまが落ち下するおそれがあります】**
- 首すわりまでのタテ対面抱っこでは、ホールディングパッドを必ず使用し、指定されたバックルを類を必ずとめる。
- 必ず内ペタルの内側にお子さまを乗せたホールディングパッドを入れる。
- 寝返りのできるお子さまや、体重7kgを超えるお子さまに使用しない。
- お子さまを乗せ降ろしする時は必ず安全な場所で行う。

- 身体を傾ける際は落下しないようにお子さまの身体を支え、手を離さない。
- 着脱する際や身体を傾ける際は頭が下向きにならないように、膝を曲げて腰を落とす姿勢で行う。
- お子さまと使用者の間にすぎ間があきすぎたりしないように、ベルトの長さを使用者の身体に合わせて調節する。
- 【お子さまが窒息するおそれがあります】**
- お子さまの顔を使用者の身体に強く押し当てる状態にしない。
- お子さまの顔の周りに十分な空間があり、頭部が動かせるように、脇ベルトの長さを調節する。



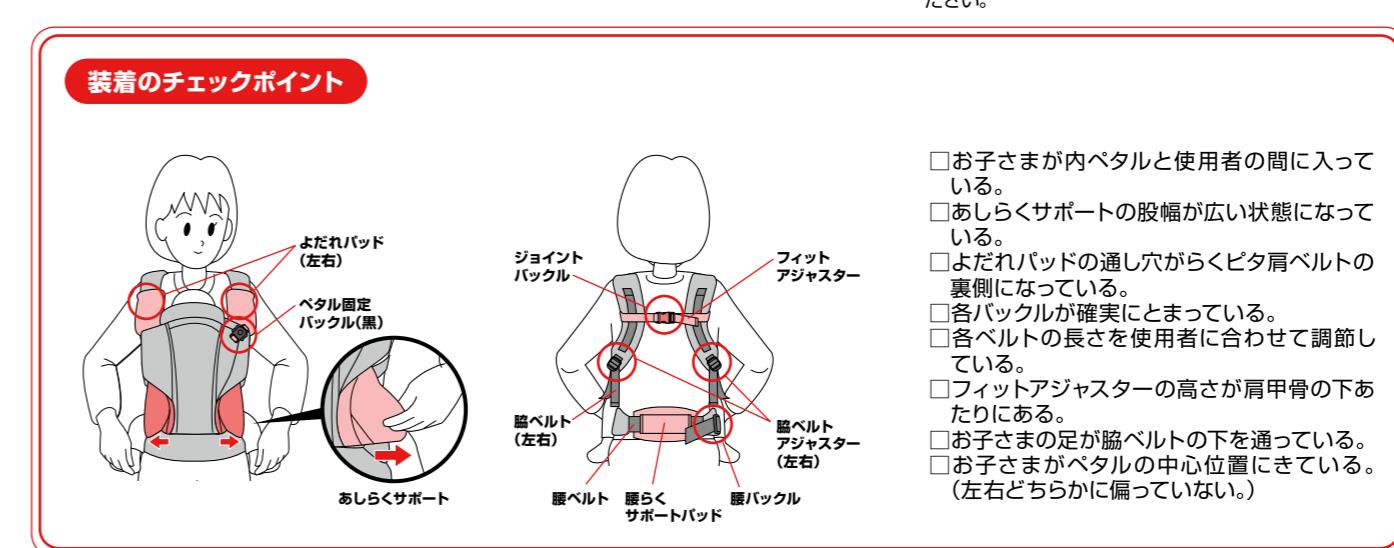
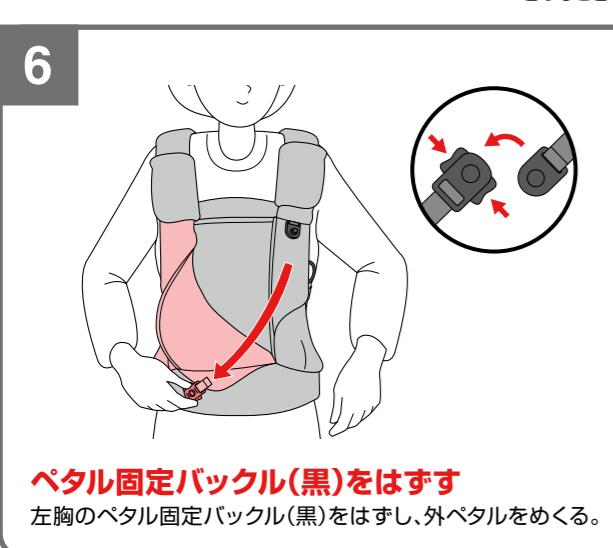
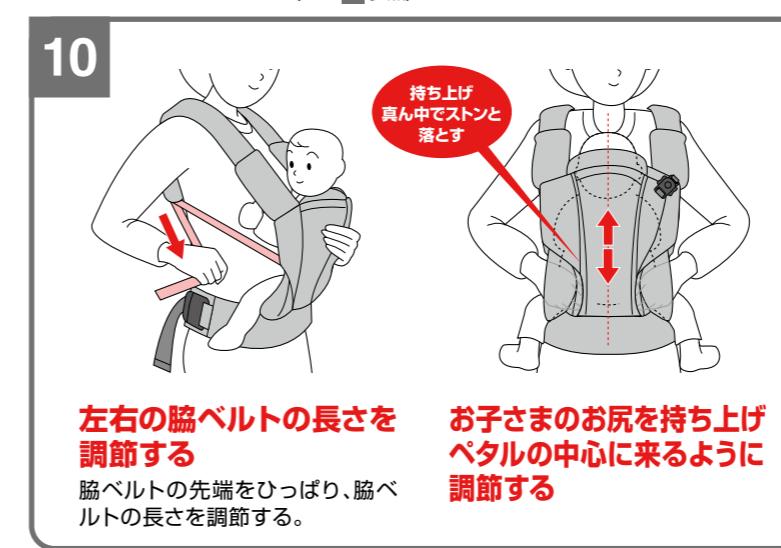
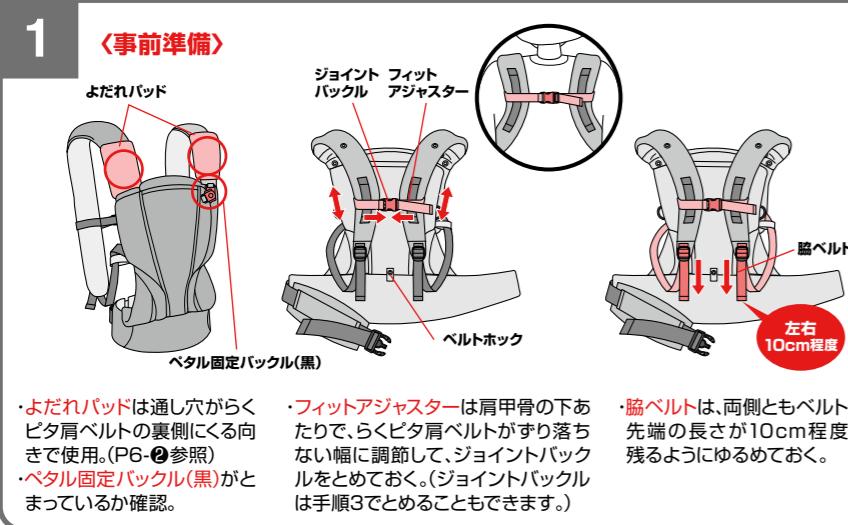
# タテ対面抱っこ

## 首すわり以降 (体重15kgまで)

・よだれパッドの通し穴をらくピタ肩ベルトの裏側にしてご使用ください。



- ・連続して2時間以上は使用しない。お子さまや使用者の体調を損なうおそれがあります。
- ・授乳後30分以内は使用しない。お子さまのおなかを圧迫するこがあり、消化吸収を妨げるおそれがあります。
- ・腰ベルトと使用者の間にお子さまの足が挟まった状態で使用しない。お子さまの足がうっ血したり、落下するおそれがあります。
- 【お子さまが落下するおそれがあります。】
- ・鏡に映して、ペタル固定バックル(黒)がとまっているか、正しく装着されているかを確認する。
- ・必ず内ペタルの内側にお子さまを入れる。
- ・お子さまと使用者の間にすき間がありすぎたりしないように、ベルトの長さを使用者の身体に合わせて調節する。
- ・お子さまを乗せ降ろしする時は必ず安全な場所で行う。
- 【お子さまが窒息するおそれがあります。】
- ・お子さまを使用者の身体に強く縛りつけた状態にしない。
- ・お子さまの顔の周りに十分な空間があり、頭部が動かせるように、脇ベルトの長さを調節する。



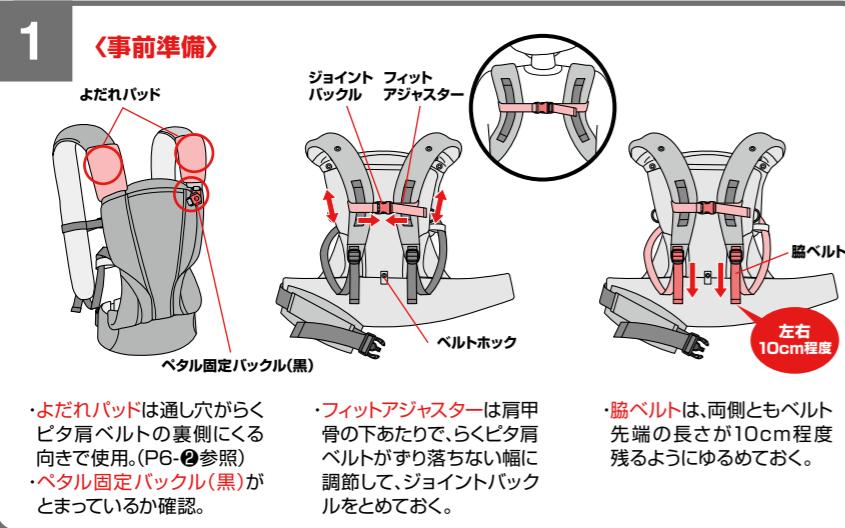
# 前向き抱っこ

## 腰すわり以降 (体重13kgまで)

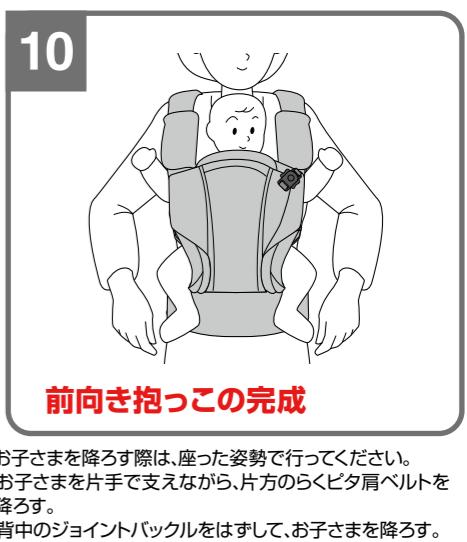
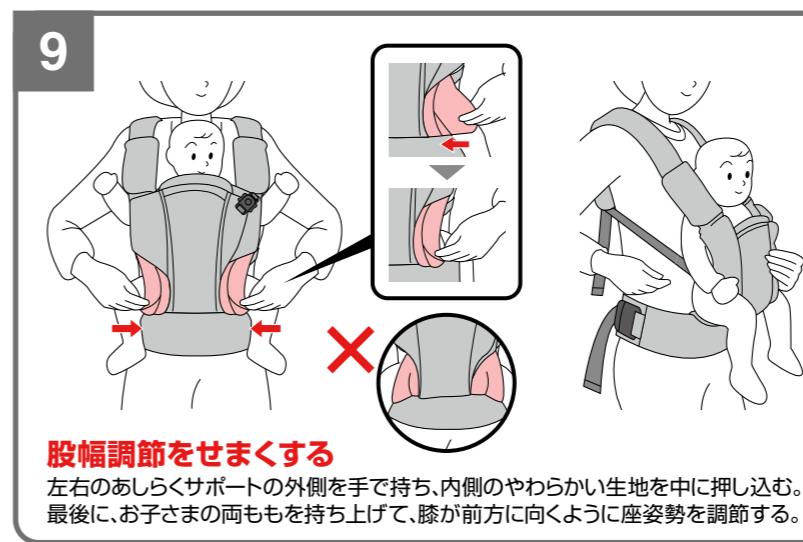
- よだれパッドの通し穴をらくピタ肩ベルトの裏側にしてご使用ください。
- 前向き抱っこは、前に乗り出す姿勢になりがちでお子さまの身体に負担がかかりやすいため、お子さまの様子を確認しながらご使用ください。



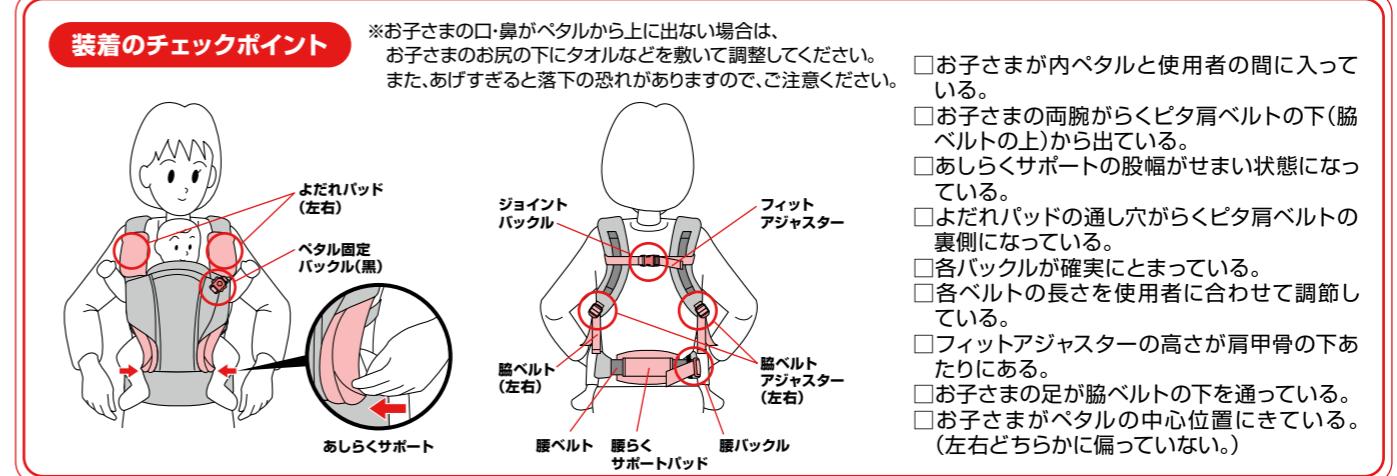
- 【お子さまが落するおそれがあります】**
- 連続して2時間以上は使用しない。お子さまや使用者の体調を損なうおそれがあります。
  - 授乳後30分以内は使用しない。お子さまのおなかを圧迫するこがあり、消化吸収を妨げるおそれがあります。
  - 鏡に映して、股幅調節がせまい状態になっているか、足が動かしやすい状態になっているか確認する。お子さまが体調を損なうおそれがあります。
  - 鏡に映して、正しく装着されているかを確認する。
  - 必ず内ペタルの内側にお子さまを入れる。
  - お子さまを乗せ降ろすときは、必ず安全な場所で行う。
  - お子さまが反り返ったり、両足が外に出でないなど、不自然な姿勢をとらせない。
  - お子さまの口・鼻をペタルでふさがない。窒息する可能性があります。



●サポートベルトを使用する場合は、P17 1 の事前準備をご参照ください。



●サポートベルトを使用する場合は、お子さまの体  
をホールドした後にサポートベルトのバックルを  
とめてください。

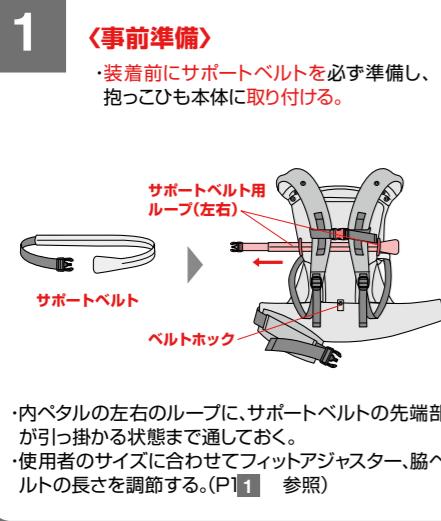


# おんぶ

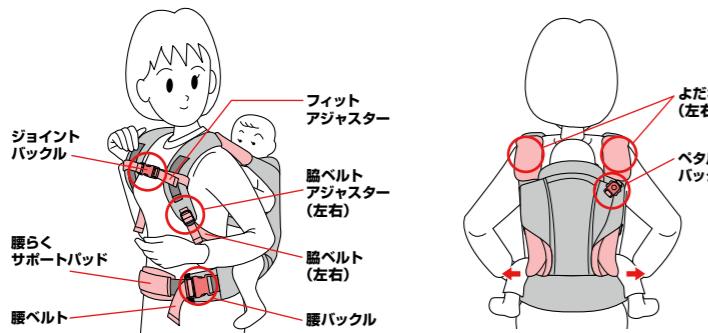
## 腰すわり以降(体重15kgまで)

- よだれパッドの通し穴をらくピタ肩ベルトの裏側にしてご使用ください。
- 安全のために、必ずサポートベルトでお子さまをホールドしてください。

### ソファなどを使用して装着



### 装着のチェックポイント

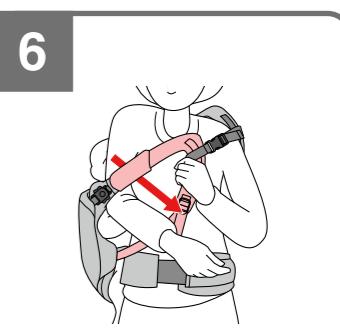
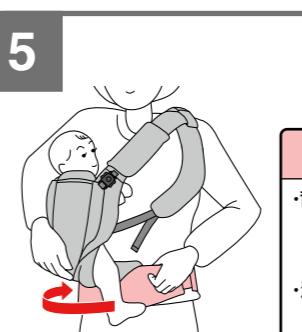
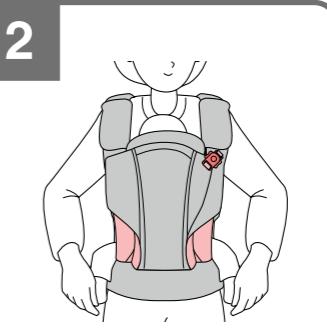


- お子さまが内ペタルと使用者の間にいる。
- お子さまの両腕からくピタ肩ベルトの下(脇ベルトの上)から出ている。
- あしらくサポートの股幅が広い状態になっている。
- よだれパッドの通し穴からくピタ肩ベルトの裏側になっている。
- 各バックルが確実にとまっている。
- 各ベルトの長さを使用者に合わせて調節している。
- フィットアジャスターが苦しくない位置にされている。
- お子さまの足が脇ベルトの下を通っている。
- お子さまがペタルの中心位置にきている。(左右どちらかに偏っていない。)



- 連続して2時間以上は使用しない。お子さまや使用者の体調を損なうおそれがあります。
- 授乳後30分以内は使用しない。お子さまのおなかを圧迫することがあり、消化吸収を妨げるおそれがあります。
- 鏡に映して、股幅調節が広げた状態になっているか、足が動かしやすい状態になっているか確認する。お子さまが体調を損なうおそれがあります。
- お子さまの状態に注意しながら使用する。気道がふさがると窒息するおそれがあります。
- 腰ベルトと使用者の間に、お子さまの足が挟まった状態で使用しない。お子さまの足がうっ血したり、落下するおそれがあります。
- お子さまが眠って、後ろに反り返る場合は、おんぶの使用を中止してください。落下や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 必ずサポートベルトを使用する。
- お子さまを乗せ降ろしするときは、必ず安全な場所で行い、お子さまの腰がすわるまでは、必ずソファなどの安全な台や介添えがある状態で装着する。
- 鏡に映して、バックルが止まっているか、正しく装着されているかを確認する。
- 必ず内ペタルの内側にお子さまを入れる。

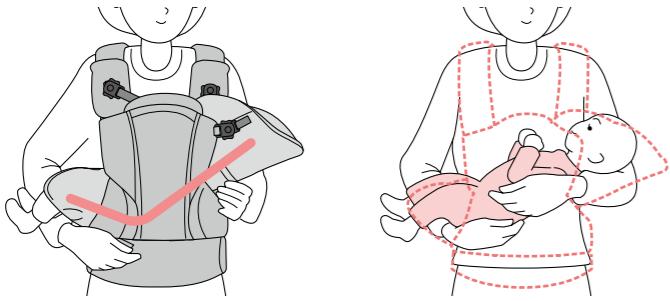
### タテ対面抱っこから背中にまわして装着



## Tips ~ママとお子さまの快適な抱っこのために~

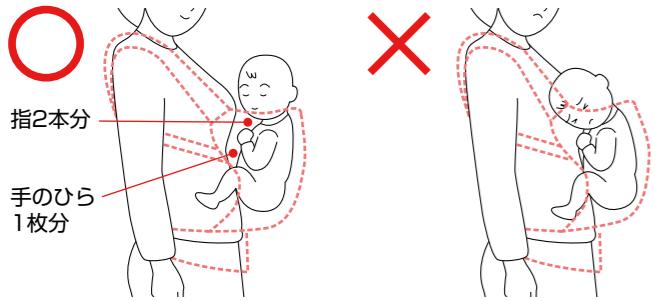
### お子さまの位置や姿勢のポイント

#### 〈ママうで抱っこのとき〉



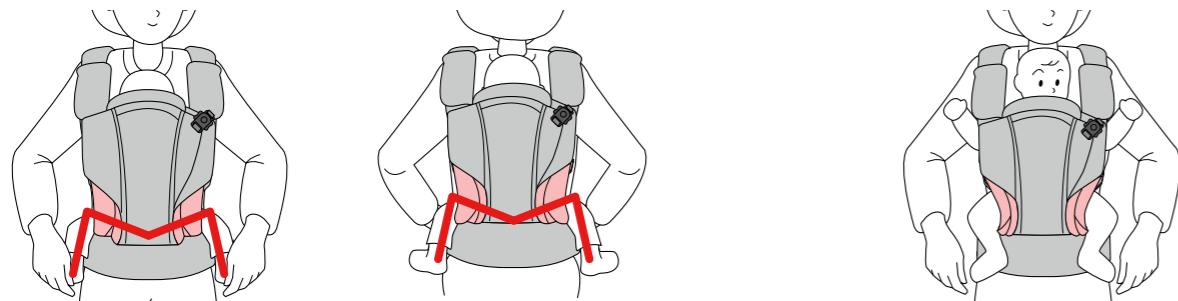
- ・ママうで抱っこは、腕の中で自然に首すわり前のお子さまを抱っこするときの角度です。
- ・お子さまの頭と脚がお尻より高い位置にくるように抱っこしてください。(最初に両脇ベルトを少しうるめに調節しておいてください。)
- ・お子さまの顔や体が少し使用者側に向くようにしてください。

#### 〈タテ対面抱っこのとき〉



- ・お子さまの呼吸を妨げる姿勢にならないよう、あごの下と胸の間には少なくとも大人の指2本程度のすき間を確保してください。
- ・お子さまの腹部と使用者の間は、手のひら1枚分(首が完全にすわったら、こぶしひつ分)のすき間を確保してください。

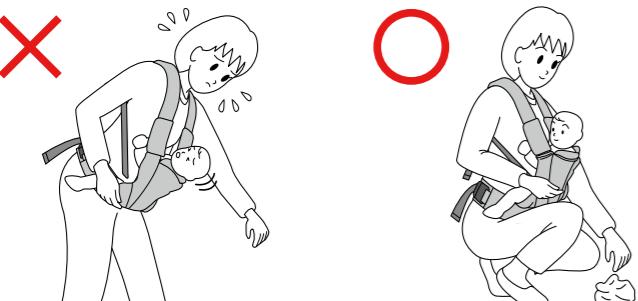
#### 〈あしらくサポートを使用するとき〉



- ・タテ対面抱っこ、おんぶのとき、あしらくサポートの股幅を広げた状態で抱っこするとお子さまの足が自然なM字型になります。

- ・前向き抱っこのとき、あしらくサポートの股幅をせまい状態で抱っこすると、お子さまが足を前にも自由に動かせるようになります。

#### 〈前かがみの姿勢になるとき〉

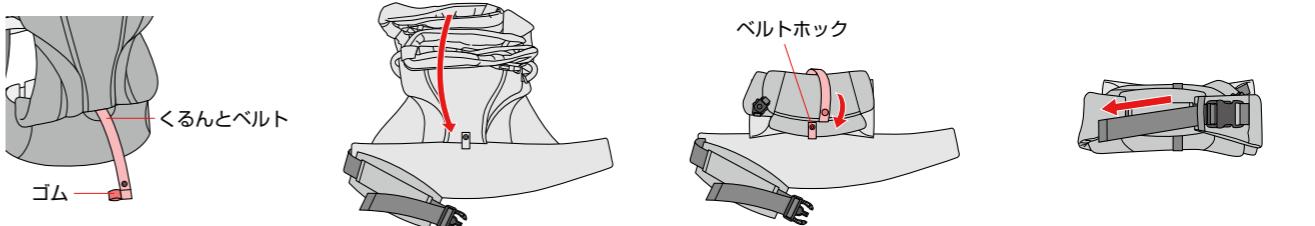


- ・大きく前かがみになる姿勢をとらないでください。かがむ際には、腰を曲げずにひざを曲げて、お子さまが落下しないように注意してください。
- ・体を傾けるときは、必ずお子さまを手でしっかりと支えてください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

## Tips ~便利な抱っこひもの使い方~

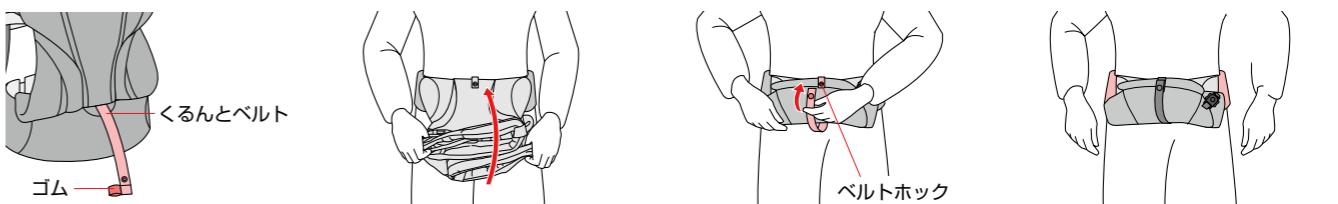
### 本体の折りたたみ方

〈本体のみで折りたたむ〉 ※ホールディングパッドを取り付けたまま、折りたたむことはできません。



- ①くるんとベルトを収納ポケットから取り出し、ゴムをほどく。
- ②左右のらくピタ肩ベルトをまとめて、折りたたむ。
- ③くるんとベルトを巻き付け、ベルトホックにとめる。
- ④腰バックルをとめて、腰ベルトを調節する。

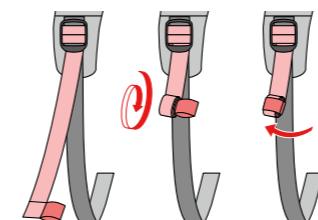
#### 〈装着状態で折りたたむ〉



- ①くるんとベルトを収納ポケットから取り出し、ゴムをほどく。
- ②左右のらくピタ肩ベルトをまとめて、折りたたむ。
- ③くるんとベルトを巻き付け、ベルトホックにとめる。
- ・腰ベルトを着用したままでもご使用いただけます。

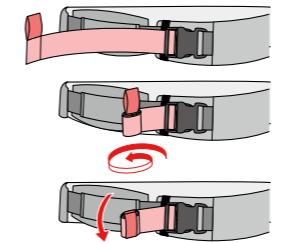
### あまつたベルトのまとめ方

#### 〈脇ベルトアジャスター用ベルト〉



- ・余ったベルトを折りたたみ、先端のゴムでまとめる。

#### 〈腰バックル用ベルト〉

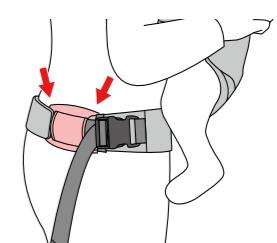
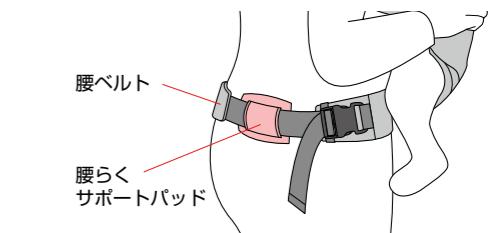


- ・余ったベルトを折りたたみ、先端のゴムでまとめる。



- ・あまつたベルトは適度な長さにまとめる。  
ベルトが巻き込まれたり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

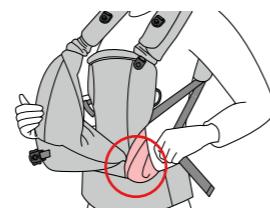
### 腰ベルトの調節



- ・腰ベルトを小さくしたい場合は、図のように腰らくサポートパッドと腰ベルトを重ね合わせて腰回り寸法を小さくすることができます。

**Q** ママうで抱っこで、内ペタルを身体にフィットさせるように調節した際に、あしらくサポートがだぶつく状態になりますが。

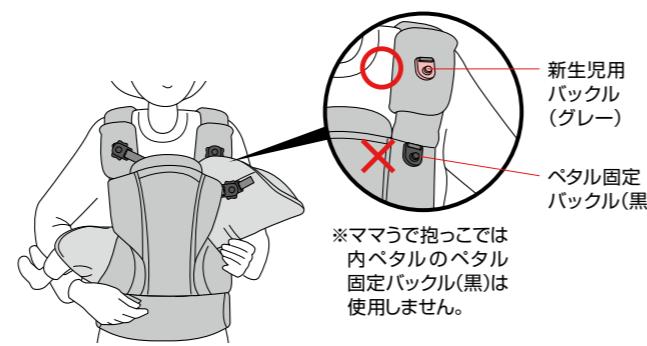
**A** ママうで抱っこの構造上、ご使用者の身長や体格によって、生地がだぶつく状態になる場合がありますが、そのままご使用いただけます。



**Q** ママうで抱っこのとき、子どもが真横に寝た角度になってしまうのですが。

**A** 平らな状態でもお使いいただけますが、頭が下がりすぎないように注意してください。

新生児用バックル(グレー:上)とペタル固定バックル(黒:下)をつけ間違える、あるいは脇ベルト(P5参照)が緩んだ状態のままでママうで抱っこをすると、お子さまの頭が低くなり平らに近い角度になってしまいます。ママうで抱っここの角度はこれらを確認した上で、左右の脇ベルトの長さを調節してください。



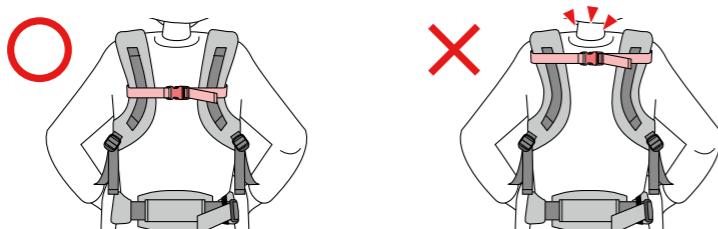
**Q** 腰ベルトはどのあたりに装着すればよいですか？

**A** 腰ベルトは、腰骨より少し高い位置に装着してください。その際、お子さまのお尻が腰ベルトより下がらないように脇ベルトの長さも調節してください。使用者やお子さまの身長・体格にもよりますが、腰ベルトの上面が、水平になるように調節してください。



**Q** タテ対面抱っこときに、肩や首のあたりに負担がかかるのですが。

**A** 腰ベルトがゆるんでいないか、フィットアジャスターの位置が高くなりすぎていないか、確認してください。装着前にフィットアジャスターの位置を下記の図のような位置に調節してください。フィットアジャスターの位置、腰ベルトの位置によって肩と腰の負担のバランスが変わります。



**Q** 首すわり以降の赤ちゃんを横から入れようとするとき、うまく入れることができません。

**A** タテ対面抱っこときは、両方の脇ベルトを少しづつ調節してから装着すると、横からお子さまを入れるときに空間を作りやすいため、入れやすくなります。

**Q** タテ対面抱っこのとき、子どもの体が埋もれる感じになり、顔が見えない状態ですが、このまま使用していいですか？

**A** お子さまの身長に対して、抱っこひもの背部が長い場合は、お子さまのお尻の下にタオルなどを敷いて、お子さまの高さを調節してあげてください。また、腰ベルトを少し高めのウエストあたりに装着するようにしてください。

**Q** タテ対面抱っこのとき、子どもの肩が外に出てしまうのですが、大丈夫でしょうか？

**A** お子さまの肩はできるだけ外に出ない方が、より安全です。どうしても出てしまう場合は、バックルがはずれていないか、ベルトに緩みがないかを必ず確認した上でご使用ください。腰すわり前のお子さまの場合は上半身が不安定ですので、手で支えるようにしてあげください。

**Q** 抱っこひもの生地と子どもの肌が触れる部分が赤くなる時があるのですが。

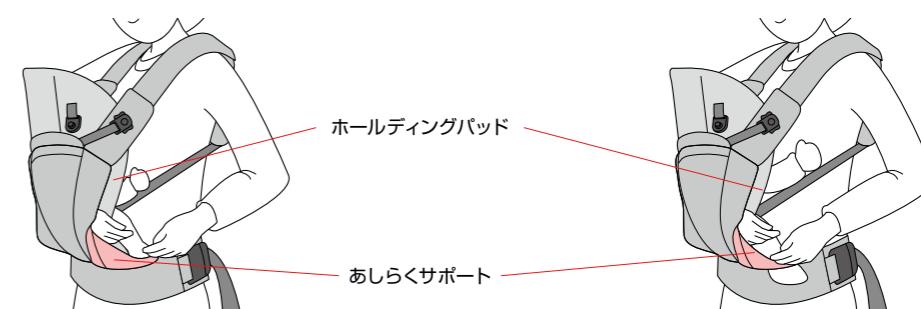
**A** お子さまのお尻が腰ベルトより下がっていたり、着衣や紙おむつなどが原因になっている場合があります。まずは装着状態をご確認ください。それでもお子さまの肌に抱っこひもの跡がついたり、肌がこすれて赤くなる場合は、肌の露出部をおおう服を着せるか、露出部にタオルなどを当てて、抱っこひもが直接触れないようにしてください。

**Q** 首すわり以降、よだれパッドの装着向きを変えずに使用してもよいですか？

**A** 安全にご使用いただくために、よだれパッドは必ず通し穴、ホック部分が裏側にくる状態でご使用ください。

**Q** ホールディングパッドを使用して、タテ対面抱っこの時に、あしらくサポートがうまく折りたためません。

**A** ホールディングパッドの下に手を入れて、パッドと一緒に赤ちゃんのお尻を少し持ち上げるようにして、おりたたんでください。生後1~2カ月ごろの、足があしらくサポートから外に出ない時期は、ホールディングパッドが赤ちゃんの足をガードするので、あしらくサポートは折りたためない場合でも大丈夫です。ただし、あしらくサポートから足が外に出る場合は、あしらくサポートを折りたたんでください。



**Q** あしらくサポートがうまく調節できないのですが。

**A** P7「あしらくサポートの使い方」を参照してください。あしらくサポートの外側(クッションの入っている部分)のやや上側を手で持ち、内側のやわらかい生地を中へ押し込みます。

## 保証とアフターサービスについて

・保証期間中(購入日より1年間です。)に部品の欠品、不良加工など弊社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償にて対応を致します。  
ただし、部品の色・柄などについては、ご希望に添えない場合があります。また、製造中止後の製品については、対応出来ないこともあります。

### アフターサービスについての連絡先

ニューウエルブランズ・ジャパン合同会社

〈電話連絡先〉

ベビー事業部 お客様サポートセンター **TEL 0120-415-814**

携帯電話からご利用の場合（通話料お客様負担）**TEL 0570-004-155**

受付時間：AM10:00～PM5:00（土、日、祝日、弊社所定休日を除く）

## MEMO